

魚沼漁協だより

号外

令和6年6月12日

発行 魚沼漁業協同組合
組合長 皆川 雄二
〒946-0021 魚沼市佐梨 1105-16
TEL (025) 792-0261
<http://www.uonuma-gyokyou.or.jp/>

令和6年アユ解禁 七月一日朝七時

毎年、県内外の大勢の皆さんからアユ釣りにお越しいただきありがとうございます。待望の魚野川本・支流のアユ釣り解禁が間近となりましたので、今シーズンの状況などについてお知らせします。

昨シーズンからアユ釣り解禁日を七月一日午前七時に変更しました。来年以降も解禁日は七月一日に固定の予定です。

また、塩沢地区（昨年までの石打・中之島地区）友釣り専用区の友釣り専用期間と地区下流端が今年から変更になっていますのでご注意ください。その他の友釣り専用区についても、昨年の見直しで変更になっている期間や地区がありますのでご注意ください。なお、詳細は裏面をご覧ください。

次に、放流状況についてです。新潟県産アユを親魚とした中間育成アユ四、〇〇〇kgと、富山県神通川産アユを親魚とした中間育成アユ一、〇三〇kgを伊勢島の中間育成施設で育て六月一日までに放流しました。他に富山県神通川産育成アユ四、〇〇〇kgと琵琶湖産育成アユ五、四〇〇kg計九、四〇〇kgを、六月二日までに河川に直接放流し、放流合計は五、九七〇kg、昨年とほぼ同じ約八二万五千尾を放流しました。

魚沼漁協では、アユ資源の循環を視野に海産系の間育成種苗を主に放流しています。また、放流域も広く、上流域から中・下流域まで息の長いアユ釣りが楽しめます。各地域の情報は随時ホームページで発信しますので釣行の参考にしてください。

今年の放流数は何万尾？

アユ種苗の放流数は重量（kg）で計算しておりますが、尾数も知りたいという意見もありますので、次のように推計で算出しました。

- ・中間育成アユ
 - （新潟県産及び富山県産 魚沼漁協育成） 平均六・九gで放流量が五、〇三〇kgでしたので、約七二九、〇〇〇尾
 - （富山県産 富山漁協育成） 平均六・〇gで放流量が四、〇〇〇kgでしたので、約六七、〇〇〇尾
 - ・琵琶湖産アユ
 - （琵琶湖産 駒井淡水育成） 平均一八・六gで放流量が五四〇kgでしたので、約二九、〇〇〇尾

この合計は五、九七〇kg、推計尾数八二五、〇〇〇尾となりました。

この他、今年も天然遡上アユが確認されています。

- 組合員の投網解禁 八月一日（午前七時）
ただし、友釣り専用区を除く。
- 登川で投網禁止
アユ稚魚保護のため、長大橋から美郷大橋迄の間を六月一日から七月三十一日迄投網を禁止。
- コロガケ及びルアーの解禁
信濃川 七月一日 午前七時
魚野川 九月一日 午前七時
但し、友釣り専用区域は除く（裏面参照）

- 毛針、餌釣り（コマセ釣り含）の解禁
八月一日 午前七時
- アユ漁業のリール竿については、遊漁規則・行使規則の竿釣りに含む。

アユ 禁漁のお知らせ

- 十月一日から七日まで全区域禁漁です。
- アユの再生産のために
アユの再生産をはかるために、十月一日から七日まで全区域で、アユは禁漁とさせていただきます。また今年も、アユの産卵が多い川口地区魚野川の、飯山線鉄橋から上流関越道橋までの間を、十月一日から十一月二十日まで、全面禁漁と決定しました。
- 鮭の一括採捕と協調を
鮭一括採捕のためのウライ付近における、アユその他の漁は、鮭漁に種々の支障があるので、ウライより上流一〇〇m、下流一五〇mの間は、ウライ設置の日より撤去の日まで全面禁漁です。
- ※ウライ設置箇所が変更になってもこの規定は変わりません

ホームページによる釣果情報

昨年に続き、今年度も組合員によるアユの釣果情報や河川情報を、ホームページに掲載しています。参考にしてください。

年券購入の方は日にちの余裕を持ってご購入ください。